

しゅうれんかい (修練会) Q&A

公益財団法人豊島修練会 2016年 月 日号 (通算第4号)

子どもとの Q&A (ぎもんやしつものある子はすばらしいです!)

Q : 僕は運動が苦手で、体育の時間がいやで休みたいです。どうしたら体育が得意になりますか? (小学校4年)



A : 体育が苦手だからと言って、別に気にする必要はありません。絵をかくのが苦手でも、絵を見ることは好き、楽器が上手に弾けなくても音楽会で演奏を聴くのが大好きという人はたくさんいます。スケートやラクビー、野球やサッカーができなくても見て楽しめればそれでもいいのです。

でも、健康のためには、ある程度の体力が必要ですから、体育の時間に思い切り体を動かす、外で元気に遊ぶことは大切です。

大人との Q&A (パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を!)



Q : 6年生の子どもの学校で、学力調査が行われました。結果が気になります。どのように受け止めたらいですか。

A : 学力調査は、①教科書で学習する程度の知識や技能が身についているか見る問題、②基礎的な知識や技能を活用して問題を解決することができるか見る問題の両面を診断することになっています。平均点より上か下かを気にせず、「良いところを確認して、一層よくなるようにする」「不十分な所を見つけて、それを補うようにする」「足りないところが目に付いたら、その面を新しく学習する」というように、活用するとよいと思います。学力試験は、学力のほんの一部でかつペーパーテストで知ることのできる部分に限られているのです。「無視すること」も「気にしすぎることも」考えものです。

学校の先生がたの Q&A (先生にもわからないことがある!)

Q : 子どもたちのグループや学級全体の話し合いがうまくいきません。話し合い、学び合いをどのように進めたらよいですか?



A : いきなり話し合わせようとしてもうまくいきません。まず、課題(問題)について考えたり、行ったり、作ったり、気づいたりしたことなどを、何らかの形で表現させます。それを基に話し合わせるようにします。その際、まず、ペア(隣同士)やグループで話し合い(dialogue=ダイアログ=情報交換や分かり合い)をさせるようにします。このことによって、すべての子供が、自分の意見を述べたり、相手の考えを聞いたりする体験ができます。その上で、全体での学び合い(discussion=ディスカッション=結論やまとめに向けての話し合い)をするとよいと思います。代表的な考えなどを出し合い、みんなで検討し、新しいことを学び取ったり、まとめたりします。このような活動を積み上げていくと学び合う力が徐々に育っていきます。

